

が動き出しています！



(株)やさしいまちの取組み

● 基本方針

「今ある地域の資源を生かし、地域住民が主体となって稼げるまちへ」

(株)やさしいまちは、地域資源（ひと・もの・自然）を生かし、地域が豊かになるまちづくりを行います。地域の人が主体となって稼ぐことが目標であり、取組みの基本方針としています。

● テーマ（取組み）

1 観光

伊佐市最大の観光地である曾木の滝・大鶴湖周辺のランドデザインを作成しています。

“観て終わる” 通過型の観光から“体験型”の観光への移行をめざし、各種ツーリズムの企画・検討を進めています。

3 地域ブランディング

かつて島津藩が力を入れていた野草・薬草の文化に光を当てた“身体にやさしい取組み”をまちづくりに取り入れる試みを計画しています。

やさしい取組みが、まちを元気にする。元気なまちには人が集まる、訪れたい。そんなまちづくりをめざして進めます。

また、今ある資源や多くの取組みを生かしたプロモーションを推進することで、地域のブランドイメージの向上を図ります。例えば、「カヌーのまち」としてアウトドアメーカーの(株)モンベルとのコラボレーションによるブランドイメージの発信やスポーツを通じた交流人口の増加の取組みなどを計画しています。



2 地域経済の活性化

通過型の観光事業であっても消費や雇用が増える事業として、特産品を開発して地元で加工まで行い、土産物やお取り寄せ商品としての需要を拡大する「6次産業化」を推進します。このため、商品開発のプロであるバイヤーを地域に招き、ビジネスマッチングを行っています。

また、大消費地である大阪府で物産展を開催し、地域の生産者による直接販売（マーケティング研修＋人材育成）など、即効性のある取組みを行います。

今秋には、関西圏のデパートで“西郷どん特集”を仕掛け、地元物産のプロモーションを行う予定です。



3月に「やさしい市」を開催（大阪府堺市）

4 情報発信

観光や特産品、イベント等の地域の魅力的な情報を(株)やさしいまちのwebページやSNS等で発信します。また、これらによって得られたデータを用いてマーケティングを行い、効果的・効率的な事業展開の基礎資料として取組みに活かしていきます。

DMOの実施主体

株式会社やさしいまち 代表者：坂元正照（設立：平成28年11月22日）

- ・事務所：曾木の滝公園内の「旧洞窟きこの園」ビル
- ・電話：0120-85-8341 または 0995-24-4631
- ・メール：8341@yasashiiimachi.co.jp ・ウェブサイト：<http://yasashiiimachi.co.jp/>
- ・Facebook ページ：株式会社やさしいまち



観光と特産品の振興による「まちづくり」の旗振り役 DMO「(株)やさしいまち」

伊佐市とさつま町を流れる川内川の流域には豊かな自然と数多くの観光資源があります。しかし、大半が滞在型の観光につながっていません。そこで、地域内の30余りの観光関連団体による協議会を立ち上げ、地域が潤う仕組みを作るための議論を重ねた結果、観光と特産品による「まちづくり」の旗振り役として(株)やさしいまち（地域連携DMO）が設立されました。



DMOって何？

Destination
デスティネーション
旅行目的地

Management
マネジメント
Marketing
マーケティング
管理・調整
誘客・販売活動

Organization
オーガニゼーション
組織

DMOとは（Destination Management/Marketing Organization）の略で、マーケティングに基づく観光戦略の策定・推進や観光事業のマネジメントを担う組織です。

伊佐市とさつま町の「稼ぐ力」を広い視点で引き出すとともに多様な事業関係者と協働しながら、観光・特産品振興などの事業の実施・調整を行う法人です。

平成28年度に伊佐市・さつま町の観光・特産品振興関連団体、NPO、金融機関、行政（国・県・市）等で組織された協議会で検討した結果、(株)やさしいまちがDMOとして誕生し観光庁に登録されました。



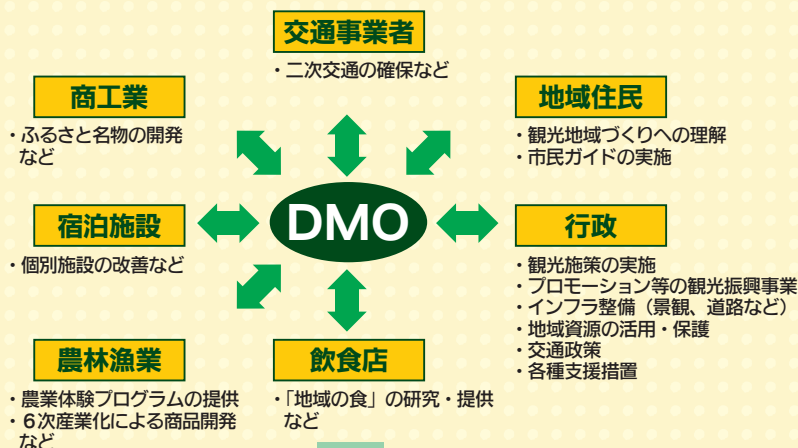
DMO(株)やさしいまちが考えること

DMOである(株)やさしいまちは、「世界一やさしいまち 伊佐・さつま」をスローガンに掲げ、政策提言、まちおこし、地域ブランディングの3つの視点から観光と特産品による「まちづくり」を推進しています。

全国各地で設立されている観光推進組織（DMO）とは違って、単なる観光ルートの開発に留まらず、地域が潤うための仕組みづくりまで手掛けているのが特徴です。観光や特産品の開発などを軸にしながら、地域の人々がすでに取り組んでいる事業を支援し、新たな起業・創業も促します。起業家の育成をはじめ、人材育成に力を注ぐことで、まちそのものを元気にし、移住を促進し、人口減少に歯止めをかけることを考えています。

(株)やさしいまちでは、地域に根付き、将来に渡って継続していける事業モデルを構築しながら、市民の皆さんに提案していきます。また、地域で芽生えた事業をきちんと育て上げ、単なる“点”としての活動で終わらせる

内外の人材やノウハウを取り込みつつ、多様な関係者と連携



地域一体の魅力的な観光・産地づくり
戦略に基づく一元的な情報発信・プロモーション

観光客の呼び込み

地域産品の販売推進
(ブランド)

観光・特産品の振興による
地域創生

のではなく、事業連携や周遊ルートを設定することで、点から線へ、線から面へと繋いでいくことを構想しています。現在作成している川を有効に活用する“川まちづくり”を含めて、こうした構想の具体的なまちづくりのイメージが湧くように示していきたいと考えています。





大口 むらたクリニック

- ① 外科・内科
 - ② 月・火・水・金
9:00～13:00、15:00～17:30
木・土 9:00～13:00
 - ③ 木曜午後・土曜午後・日曜・祝日
- 問 伊佐市大口大田 1764 番地 1
Tel: ②⑦⑧⑧⑧ fax: ②⑨⑦⑧⑧

大口 松崎医院

- ① 耳鼻咽喉科・内科・小児科
 - ② 月・火・水・金・土
8:30～12:00、14:00～17:30
木 8:30～12:00
 - ③ 木曜午後・日曜・祝日
 - ④ 花粉症だけでなく、アレルギー全般を診療しています。キッズスペースあり。キャノン電位治療導入。
- 問 伊佐市大口里 2928 番地
Tel: ②②⑥⑦① fax: ②⑦⑧⑦①

大口 有村クリニック

- ① 内科・小児科・消化器科・循環器科・胃腸科
 - ② 月・火・木・金
8:30～13:00、14:00～18:00
水 8:30～13:00
土 8:30～13:00、14:00～16:00
 - ③ 水曜午後・日曜・祝日
- 問 伊佐市大口里 1889 番地 2
Tel: ②②①①⑤⑤ fax: ②②①⑧⑨②

菱刈 水間病院

- ① 内科・泌尿器科（人工透析）・消化器内科・皮膚科・リハビリ科・婦人科
 - ② 月～土 9:00～17:30
※婦人科外来は予約制。
 - ③ 日曜・祝日
 - ④ 精一杯患者様のためにできることをする、患者様に接する態度は笑顔で優しくというのがモットーです。
- 問 伊佐市菱刈前目 2125 番地
Tel: ②⑥①②①① fax: ②⑥②⑤⑧⑦

西太良 下田医院

- ① 内科・外科
 - ② 月・火・水・金
8:30～12:00、14:00～17:30
木・土 8:30～12:00
 - ③ 木曜午後・土曜午後・日曜・祝日
- 問 伊佐市大口針持 320 番地 6
Tel: ②⑤②⑨③③ fax: ②⑤①②⑦⑧

大口 整形外科松元病院

- ① 整形外科・リハビリテーション科・リウマチ科・麻酔科・皮膚科
 - ② 月～土
8:30～11:30、13:15～17:00
 - ③ 日曜・祝日・8月14日・年末年始
 - ④ リハビリ（理学・作業・言語）・通所リハビリ（送迎）・訪問看護・訪問リハビリを行います。
- 問 伊佐市大口里 491 番地 2
Tel: ②②①①⑦① fax: ②②②⑨④⑥

大口 大口病院

- ① 精神科・心療内科・内科
 - ② 月～土 8:30～11:30
 - ③ 日曜・祝日・年末年始・お盆
 - ④ 市内唯一の精神科医療機関として、こころの病や認知症などの治療、地域生活支援を行っています。
- 問 伊佐市大口大田 68 番地
Tel: ②②⑦③③⑥ fax: ②②①⑤③③

菱刈 菱刈中央医院

- ① 内科・外科・消化器科・整形外科・リハビリテーション科
 - ② 月・火・水・金 8:30～17:30
土 8:30～17:00
※木曜は訪問診療のため外来なし
 - ③ 日曜・祝日
 - ④ 子どもから高齢者まで、内科・外科問わず診療しています。介護保険や在宅医療の相談にも応じます。
- 問 伊佐市菱刈前目 790 番地 1
Tel: ②⑥⑦①④⑦ fax: ②⑥⑦⑨③⑦

菱刈 つよしクリニック

- ① 内科
 - ② 月・火・木・金
～11:00、～16:30
土 9:00～11:00
 - ③ 水曜・土曜午後・日曜・祝日
- 問 伊佐市菱刈重留 1147 番地 1
Tel: ②⑥⑦⑦⑧⑦ fax: ②⑥①①⑧⑦

大口 大保・川添クリニック

- ① 内科・循環器内科・皮膚科・小児科
 - ② 月・火・水・金
8:45～12:30、14:45～18:00
木 8:45～12:30
土 8:45～12:30、14:00～17:00
 - ③ 木曜午後・日曜・祝日
 - ④ 羽月小学校と羽月西小学校の校医をしています。
- 問 伊佐市大口里 354 番地 1
Tel: ②②⑥⑦⑦⑦ fax: ②②⑥⑦⑦①

大口 大口温泉リハビリテーション病院

- ① 内科・消化器科内科・循環器内科・神経内科・放射線内科・リハビリテーション科
 - ② 月～金
8:30～12:30、14:00～17:30
土 8:30～12:30
 - ③ 土曜午後・日曜・祝日・年末年始・お盆
 - ④ 内科を中心とした外来診療、長期療養型の入院診療、健診事業を柱とした病院です。
- 問 伊佐市大口青木 3022 番地 34
Tel: ②②⑧⑧⑧⑧ fax: ②②④⑧⑥⑧

「救急の日」に合わせ9月9日に伊佐市医師会、伊佐湧水消防組合が合同で救急総合想定訓練を行います。

詳しくはP9をご覧ください。



9月9日は、救急の日です。

市民の皆さまが安心して暮らせるために、市内の医療機関を紹介します。

大口 なかむら産婦人科

- ① 産婦人科
- ② 月・火・水・金
9:00～12:30、14:30～17:30
木・土 9:00～12:30
- ③ 木曜午後・土曜午後・日曜・祝日
- 問 伊佐市大口上町 46 番地 12
Tel: ②4 2 2 3 8 fax: ②4 2 2 3 9

西太良 古川医院

- ① 内科・小児科
- ② 月・火・金
9:00～12:00、16:00～18:00
水・木 9:00～18:00
土 9:00～11:30
- ③ 土曜午後・日曜・祝日
- 問 伊佐市大口曾木 1263 番地
Tel: ②5 1 1 5 1 fax: ②5 2 0 5 1

大口 貴嶋眼科

- ① 眼科
- ② 月・火・水・金
9:00～12:00、14:00～18:00
木 9:00～12:00
土 9:00～12:00、14:00～16:00
- ③ 木曜午後・日曜・祝日・
8月13日午後～15日・
12月30日午後～1月3日
- ④ 白内障手術は、日帰り入院可
- 問 伊佐市大口上町 3 番地 3
Tel: ②2 0 1 6 9 fax: ②2 3 9 6

大口 寺田病院

- ① 外科・内科・整形外科・胃腸科・肛門科・リハビリテーション科・耳鼻咽喉科
- ② 月～金 ～11:00 (耳鼻咽喉科のみ 14:00～16:30)
- ③ 土曜・日曜・祝日 (外科は木曜、耳鼻咽喉科は水曜・土曜午後)
- ④ 専門外来: 呼吸器外科 (第2・4火曜午後)、糖尿病内科 (毎週水曜午後)、循環器内科 (第1・3土曜午前)
- 問 伊佐市大口上町 31 番地 4
Tel: ②2 1 3 2 1 fax: ②2 9 4 7



掲載内容に一部変更がある場合もあります。詳しくは、直接医療機関へお問合せください。

掲載希望の病院を掲載しています。順不同です。

羽月 県立北薩病院

- ① 内科・呼吸器内科・循環器内科・神経内科・小児科・外科・脳神経外科・放射線科・消化器内科
- ② 月～金 8:30～10:00
- ③ 土曜・日曜・祝日・年末年始 (ただし、急患は随時受付)
- ④ 糖尿病や肝臓病、リウマチ・^{こうげん}膠原病などの専門外来も行っています。
- 問 伊佐市大口宮人 502 番地 4
Tel: ②2 8 5 1 1 fax: ②2 6 7 8 3

大口 日高内科

- ① 内科・小児科・放射線科
- ② 月・火・水・金
9:00～12:00、14:00～17:30
木・土 9:00～12:00
- ③ 木曜午後・土曜午後・日曜・祝日
- ④ 木曜午後・土曜午後は、訪問診療を行っています。
- 問 伊佐市大口上町 17 番地 4
Tel: ②2 1 3 3 5 fax: ②2 1 3 3 6

大口 寺師医院

- ① 内科・消化器科
- ② 月・火・木・金
8:00～12:00、14:00～18:00
水・土 8:00～12:00
- ③ 水曜午後・土曜午後・日曜・祝日
- ④ 消化器がん検診精密検査医療機関、日本医師会かかりつけ認定医療機関、日本医師会認定産業医、大口高校学校医。
- 問 伊佐市大口上町 12 番地 6
Tel: ②2 6 3 4 fax: ②2 6 0 8 6

地区 医療機関名

- ① 診療科目
- ② 受付時間
- ③ 休診日
- ④ その他
- 問 住所
連絡先

大口 土屋眼科

- ① 眼科
- ② 月～金
8:30～13:00、14:30～18:00
土 8:30～12:00
- ③ 土曜午後・第2・4水曜午後・日曜・祝日
- ④ 予約制 (電話予約可能)、毎週月曜日午後は手術です。
- 問 伊佐市大口里 3060 番地
Tel: ②2 6 2 2 fax: ②2 7 9 7

山野 三浦医院

- ① 内科・循環器科・小児科
- ② 月～木 9:00～18:00 (午後受診時は要電話)
土 9:00～12:00
- ③ 金曜・土曜午後・日曜・祝日
- ④ 在宅訪問診療、訪問看護も行っています。
- 問 伊佐市大口山野 5167 番地
Tel: ②2 6 9 1 1 fax: ②3 0 0 3 4

大口 さわたりクリニック

- ① 泌尿器科・腎臓内科・内科
- ② 月・火・木・金
9:00～12:00、14:00～18:00
水・土 9:00～12:00
- ③ 水曜午後・土曜午後・日曜・祝日
- ④ 主に腎臓、膀胱など泌尿器を診ています。おしっこのことで気になることがあったら、来院されてみてください。
- 問 伊佐市大口里 3040 番地 1
Tel: ②2 3 3 2 2 fax: ②2 3 3 5 0

没後40年 ―その人間性や文学の魅力を探る―

海音寺潮五郎

伊佐が生んだ偉大な歴史作家

全6回連載



第四回 「明治太平記」を読む(下)

―作品テーマ―

鹿児島純心女子大学教授 古閑 章

歴史解釈に「～れば」「～たら」という仮定の話は禁物である。しかし、海音寺文学の到達点からその文業を振り返った時、「明治太平記」3部作および「人間」5部作(「二本の銀杏」「火の山」「風に鳴る樹」)が当初の意図に反して未完に終わらざるを得なかった事実は惜しまれてならない。



1868(慶応4)年、徳川幕府を倒した明治新政府は、明治3～4年頃には早くも薩長藩閥専制の弊害による汚職事件を頻発させるようになっていた。明治3年7月には、初代文部大臣・森有礼の兄・横山安武が「時弊十箇条」を集議院に投じ、門前で腹を切り諫死した。そして翌年には、長州藩出身の大蔵大輔・井上馨(作品では井下清)が黒幕で主導した尾去沢銅山払い下げ事件が起きるのである。

「明治太平記」の中心点は、国家権力を笠に着た悪徳政治家とその子分が、尾去沢銅山の利権獲得に奔走する醜悪な有様を的確に描きつつ、それに敢然と立ち向かう旧会津藩士・滝山修平の奮闘を真つ向から対決させる構図に置かれている。

滝山の側には、政府高官の汚職や腐敗政治に批判的な司法卿・江藤新平や参議・西郷隆盛および桐野利秋がおり、滝山は桐野の援助を受けながら江藤のもとで尾去沢銅山の払い下げ問題の調査に当たると、これに徹底的に横やりを入れ邪魔をする

のが井下清であり、その配下の御用商人・岡田平蔵にほかならない。そのほか、梨影・おりん・不二子・茉莉という美女たちが小説の展開になくてはならない存在として登場し、金権政治にまみれた腐敗政治家たちの救い難さが、恋愛の切なさ思い惑う男女の姿にまぶされ活写されている。そしてそういう人物造型のなかで異彩を放っているのが、旧幕臣で、かつて滝山の親友であった石川金之助である。

石川は、滝山のように理想一辺倒な考えは超越し、明治政府の将来を冷静に見据えた知識人である。石川のスタンスは、西郷党や大久保党のどちらにも偏することなく、いささかニヒルではあるが、正確な批評家としての立場を標榜する。それは、時代の波に乗った薩長藩閥側ではなく、滅ぼされ衰退して行く敗者の側から繰り出される冷徹な批評精神と見るべきものである。

「明治太平記」には、成立して間もない近代国家としての明治政府が打ち出した「廃藩置県」等に関する用語の説明が極めて簡潔に分かりやすく提示されている。「政治的には、封建制度の廃止であり、大名としては、先祖の武勲功績によって獲得した、いわば私有財産である土地を、

没収されることであり、統治権を喪失することであり、武士としては、失業で有り、人民としては、父祖代々なじんだ殿様と別れて、どこの馬の骨とも知れない中央派遣の地方官によって、治められることであつた」と断言されると、なるほどそうかと納得する。そしてこの未曾有の大改革は、天皇が渙発した一枚の詔書によって何の混乱もなく断行されたのであつた。海音寺はそうした現象をあまりにも自己の権利に無自覚な国民性の現れであり、やがてその無抵抗性が昭和期の軍閥の台頭と暗黒政治を呼び込むことになったと見なしている。明治維新の急所を睨めることは、世界に誇りうるスピーディな制度改革の成功を検証しなおすとともに、日本人の問題性を再考する機縁ともなるのである。

「明治太平記」の第2部では佐賀の乱をメインにしつつ、神風連(熊本)、萩(山口)、秋月(福岡)等の不平士族の乱に及び、第3部において西南戦争を描写する予定であつたと言う。

冒頭の「～れば」「～たら」論議が禁句であることに変わりはないが、それでもあえて望蜀の嘆を繰り返したくなるのは、この作品があたかも死んだ子の年を数える親に似た心境に陥らせるからである。史伝「西郷隆盛」が「上野戦争」で断たれたまま終わっていることは周知であらう。